

■日時 平成30年8月17日(金) ■天候 晴れ

兵庫県立飾磨工業高等学校 対 天理高等学校

■球場 府中市民球場 第3試合 準決勝 ■試合時間 1時間30分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:松山 塁審:山田 竹本 谷川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7							計	安	失
飾磨工業	兵庫	1	0	0	0	0	0	0							1	1	3
天理	近畿・奈良	0	1	4	3	2	0	x							10	8	0

飾磨工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7						
1	捕	投	塩田 涼	2	1	0	0	四球		左飛			左飛							
2	遊		安井 杏耶	3	0	0	0	投ゴ		三ゴ			二ゴ							
3	投	一	山田 瑠	3	0	1	1	右2		二ゴ			中飛							
4	三		多田 羅大輔	3	0	0	0	三振			遊ゴ			中飛						
5	右		山本 倫守	3	0	0	0	三飛			捕ゴ			三振						
6	一	捕	福田 幸基	3	0	0	0		三飛		三ゴ			三振						
7	二		小路 和輝	1	0	0	0		四球			三ゴ								
8	中		福田 悠平	1	0	0	0		投犠			中飛								
9	左		伊賀 神一郎	2	0	0	0		二ゴ			捕邪								
合計				21	1	1	1	残塁:2 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
山田 瑠
塩田 涼

捕手
塩田 涼
福田 幸基

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山田 瑠	2 2/3	17	4	1	5	4
塩田 涼	3 1/3	17	4	1	1	4

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7						
1	中		窪田 正喜	3	2	1	0	左安		四球	二ゴ	二失								
2	右		平野 雄大	3	2	2	0	投犠		三安	左安	二ゴ								
3	三		岡田 民生	4	1	1	2	遊飛		二ゴ	中安	三失								
3	三		清水 勇人	0	0	0	0													
4	左		森口 信宏	4	0	0	0	三振		三ゴ	三振	三ゴ								
5	遊		片山 幸輔	3	3	2	2		死球	中安	右3		投ゴ							
6	一		浅見 紫歌	1	1	0	0		投犠	四球	四球		三ゴ							
7	投		堀部 陸	3	0	1	2		死球	左2	三ゴ		遊ゴ							
8	二		邊田 三嗣	2	0	0	0		遊安	四球		二ゴ								
8	二		西川 道男	0	0	0	0													
9	捕		原田 成人	3	1	1	1		一飛	二ゴ		右本								
合計				26	10	8	7	残塁:6 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
堀部 陸

捕手
原田 成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部 陸	7	24	1	3	2	1

■戦評

府中球場で行われた準決勝第1試合は、午前中の準々決勝を終盤の集中打により逆転で制した兵庫県立飾磨工業高校と今大会も盤石の試合運びでここまで勝ち上がってきた天理高校の対戦となった。先攻の飾磨工業は初回一死二塁から3番山田の適時二塁打で1点を先制すると2回に一死一塁から犠打で得点圏に走者を進めたが後続を断たれ追加点を奪えない。今大会初めて追いかける展開となった天理だが2回裏敵失によりすぐさま同点に追いつくと3回無死一三塁から3番岡田の内野ゴロにより逆転に成功する。さらに5番片山の適時安打7番堀部の2点適時二塁打により追加点を奪う。勢いに乗る天理は4回に3点を追加すると5回9番原田の2試合連続となるランニング本塁打と敵失により2点を加え試合を決めた。天理先発堀部は3回以降飾磨工業打線を1人の走者も出さない完璧な投球で抑えた。この試合も投打に相手を圧倒した天理が7回コールド10-1で勝利し、連覇へ王手をかけた。一方この試合では持ち味を出せなかった飾磨工業だが最後まで集中したプレーを見せチームとしてのまとまりを感じさせた。また四球や相手のミスを逃さず積極的な走塁で大量得点を奪い、いく野球は全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。